

JWAF journal

2024 5・6 合併号

日本勤労者山岳連盟 Japan Workers' Alpine Federation

〒 162-0814 東京都新宿区新小川町 5 番 24

TEL : 03-3260-6331 FAX : 03-3235-4324

Mail : jwaf@jwaf.jp

発行責任者／川嶋高志 発行年月／2024年5月



宮之浦岳

- 第51回全国一斉クリーンハイクへの呼びかけ
- 2025年JWAFカレンダー写真募集の案内

「あの岩の上でゴロンとなりたいなあ」

淀川登山口から奥岳縦走。寄り道した黒味岳山頂から見る、パッチワークのような木々の色、これから歩く縦走路の花崗岩の岩棚で休憩する登山者がとても気持ちよさそうだった。撮影後、この岩棚は通ったはずだが、それと気づかず通過したのだった。

(松岡艶子・普通寺山の会／香川)

■第51回全国一斉クリーンハイクへの呼びかけ 自然保護委員会

ふるさとの山を清掃し、素晴らしい山岳自然を後世に引き継いでいこう



労山クリーンハイクは、1974年10月に全国自然保護強化月間を設けて、これを機に、毎年6月第一日曜日を全国清掃登山の日と定め、今年で51回目を数えます。

労山自然保護憲章の中でも「クリーンハイク運動に参加し、登山者のモラルを高め、山からゴミを一掃します」と謳われています。このクリーンハイクも2019年末に発生したコロナウイルスの蔓延で約3年間は労山地方連盟の活動自粛が続きましたが、昨年2023年は、多くの地方連盟で取り組みを再開しています。

最近は、「登山道でのゴミはすっかり少なくなった、もうクリーンハイクの目的は達成されたのではないか」という意見も聞かれます。しかしながら、クリーンハイクは登山者が最も手軽に参加できる自然保護活動であり、これが50年以上の長きにわたって継続されてきたからこそ、現在の登山者らのモラルが向上してきたのではないか。現在、山岳の自然環境に対する課題は多様化してきています。山のトイレ問題をはじめとして、CO₂排出による地球温暖化やニホンジカの食害問題、外来種等による生態系の劣化などがあり、我々だけの力では解決できなくなってきた

います。

そんな中で、これからクリーンハイクは単なるゴミ拾いではなく、クリーンハイクを行うことで、多くの登山者が地域の山の環境や課題に気づき、多面的な自然保護活動を広げていくことが重要ではないでしょうか。そこで、下記に掲げる項目について、会員などへの参加と行動をここに呼びかけるものとします。

1. ゴミは山に捨てないようにして、持ち帰りましょう。
2. 山のトイレはバイオトイレが増えたとは言え、まだまだ不足しています。携帯トイレを持参し、利用することで山の自然環境への負荷を減らしていきましょう。
3. 山岳自然環境は、それぞれの地域によってさまざまな課題があります。例えば、登山道の保全や周辺施設の整備・保全、外来種の問題など、その地域の課題解決に必要な行動を行いましょう。
4. 太陽光パネルや風力発電施設は自然エネルギーの利用のために必要ですが、山岳自然環境の劣化や希少な生態系の破壊につながる施設の設置は認められません。開発動向に关心を持ち、情報を共有しましょう。

■6月15-16日 全国自然保護講座 IN 千葉南房総

「ネーチャーポジティブの実現が山の生物多様性を守る」～山の生物多様性を保全するためのOECMの推進～

昨今、山岳自然環境やその地域の生態系を取り巻く状況は、ここ数年で大きくかつ急速に変化してきている。2020年のこの集会では初めて「地球温暖化がもたらす山岳自然の劣化」というテーマで開催されている。CO₂等の排出ガスによる気候変動が、山岳の自然生態系に様々な劣化を招いていることが明らかになっている。また、気候変動と密接に関連する生物多様性の劣化についても、深刻な課題と認識されるため、気候変動対策と生物多様性の保護対策は、車の両輪のように相互に補いながらその対策を立てていくという考えが、今や国際的に主流の考え方となっている。本講座においては、これを解決するための方策としてネーチャーポジティブという考え方を基に、環境省が提唱する30 by 30やOECMという手法を用いて、我々山岳団体がどのように山岳自然環境を守っていくことができるかを検討したい。

●日時:6月15日(土)12:30~16日(日)昼

●場所:いとう RYO

千葉県南房総市、TEL 0470-57-2113

●参加費用:9,000円(1泊2食・交流費込)

★報告要請

昨今の山岳自然環境や生態系を取り巻く状況が大きくかつ急速に変化しています。例えば、「CO₂排出による地球温暖化」「再生可能エネルギーの名目のもとに地形や生態系を無視した開発」「ニホンジカの増加による食害」などが挙げられます。

労山自然保護憲章の第一章には「登山活動を通して、自然を見る目を養い、自然の変化をとらえ、山と地球規模の環境保全に寄与します」と謳われています。我々登山者は、地域の山岳環境に目を向け、その課題を労山の中で共有し、課題解決に向けて共に活動していくと考えております。そこで、多くの地方連盟からそれぞれの地域での課題やそれに対する取組みについてのご報告をお待ちしております。報告内容は自由ですが、例をHPに掲載しています。

☆二日目午後はオプションとして鋸山ハイキング

☆参加申込締切:6月5日

☆詳細と参加申込は労山HPより↓

https://www.jwaf.jp/topics/info/2024/0517_1444.html



■6月29-30日 平和と登山全国集会 核兵器も原発もない世界の実現をめざして

- 日時:6月29日(土)13:30~30日(日)13:30
 - 会場:東京セントラルユースホステル
(東京都新宿区・飯田橋駅西口直結のセントラルビル18階)
 - 宿泊:上記ホステル、全国連盟事務所
 - 講演:野口邦和氏(原水爆禁止世界大会実行委員会共同代表)
 - 来賓:日本婦人団体連合会・柴田真佐子会長
- ★講演者紹介:野口邦和氏は、日本大学歯学部総合歯学研究所准教授(放射化学、放射線防護学、環境放射線学)、福島大学うつくしま未来支援センター客員教授、日本登山医学会評議員などを歴任。朝日新聞1995年度朝日スポーツ賞受賞(日本大学エベレスト登山隊)。また、日本労働者山岳連盟が編成した「登山道の放射能汚染マップ作成プロジェクトチーム」と共同で、2011年秋から東北、関東地方を中心に登山道の空間線量率の測定を分析し、「福島第一原子力発電所事故は登山にどのような影響を与えていたのか」「登山をする上で注意すべきことは何か」「登山者が果たしていくべき役割は何か」といった事柄を明らかにするために大きな貢献を果たし、2013年5月、34回日本登山医学会総会奨励賞が授与された。

★詳細と参加申込は労山HPより↓

https://www.jwaf.jp/topics/topics/2024/0410_1405.html



★集会へのメッセージ★

日本婦人団体連合会・柴田真佐子会長より

婦団連は、朝鮮戦争のさなかの1953年4月5日に「平和を願う女性の力を一つに」と結成され、平和とジェンダー平等の実現を求めて運動してきました。

岸田政権は安保3文書の具体化を進め、「戦争する国」づくりを進めています。ロシアによるウクライナ侵略戦争が始まって2年が経過、イスラエルによるガザ地区へのジェノサイドが続いている。平和であってこそ人権が守られます。ひとたび戦争が始まつたら終結させることは困難です。戦争を起こさせないことが重要です。

今年は10月にジュネーブの国連女性差別撤廃委員会(CEDAW)で日本政府の第9回報告の審議が行われます。CEDAW審議に向けてレポートの作成や審議の傍聴・ロビー活動の準備をしています。昨年、日本のジェンダーギャップ指数は146カ国中125位と過去最低になりました。私たちは、女性の権利を国際基準に引き上げるためにも、女性差別撤廃条約選択議定書の批准の運動を進めています。

憲法と女性差別撤廃条約に基づく、平和とジェンダー平等社会の実現をめざして共に歩んでまいりましょう。

■組織部

集まれ!若者!!若手のためのJWAFフェス in みずがき!!

9月7日(土)~8日(日)に、全国連盟は、山梨県北杜市の瑞牆山荘をベースに(山荘は貸切)「若手のためのJWAF フェス」を開催する。労山青年・学生委員会のメンバーたちは、その集会を成功させるために語り合い、知恵を絞って準備している。

労山の登山文化を継承するために、「若手フェス」の開催は長い間懸案事項だったのだが、今年の総会で集会開催が決議された。

開催の趣旨は、労山内外の若者に「集まろうよ」と呼びかけ、集会に参加し、交流し、労山の良さや参加者の山への思いを率直に語りあうことだ。

運営メンバーは全国各地にいるので一堂に会することができない。だから会議はZOOMを活用し、スマホを駆使してそれぞれが提案する内容をデータで配信するなど、意思疎通を図り、瞬く間に方向性が決まる。集会内容も1日目は「時間を有効に使用したい」、2日目は「自主的な登山・クライミングにしていきたい」等々、発想がどんどん溢れ湧いてくる。

その結果、1日目の集合は夕方とし、北平友哉氏の講演からスタートする。講演者は岐阜県高山市と長野県

川上村の二拠点生活を続け、アメリカにある世界最難のワイドトラックにトライしている。2010年伊吹山に登ったことを契機に百名山をめざしたが、2014年、佐藤裕介氏の講習会へ参加してワイドクラックに惹かれたという。なぜ山に登るのか、登山からクライミングへ、など山への想いを情熱をもって語り、きさくで話も面白いと評判なので大いに期待してほしい。氏はYoutubeや新聞メディアでも、なぜ山に登るのか等語っている。カラファテ川上店を継承し、自身で立ち上げた登山用品店「ROOF ROCK」(2024年4月オープン)は、小川山や瑞牆山を訪れるクライマーなど登山者で賑わっている。

2日目は瑞牆山ハイキングや、近辺のクライミング等自由に参加できる形態を考えている。また希望者には北平氏のワイドクラック体験会も準備している。

参加費は今のところ宿泊費として1泊2食1万円程度を予定している。間もなく詳細な集会の実施要綱、案内チラシを作成するので、若手(50歳以下)の方は友達を誘い参加してほしい。この集会は、笑顔あふれることうけ合いで充実感あふれることうけ合いで乞うご期待!!

4月3日から5月2日までに届いた事故一報

事故状況										傷病名		
事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因						
1	3/31	福岡	77	男	父ヶ岳	無雪期	転倒	七つ岳から父ヶ岳に向かう途中、急な下りで足を滑らせ右足首を捻る。				右足首靭帯損傷
2	3/30	長野	67	男	桧沢岳	無雪期	虫・動植物	斜面を登っている時、木の小枝の先が右目に当たり、角膜表皮に傷がついた。				右目角膜表皮損傷
3	3/7	和歌山	64	男		人工壁	その他	クライミングジムで難度の高いところに取り付き、出だしの一手中指を度々トライした後に立ちこんだところ、右ふくらはぎに激痛が走った。				筋断裂（肉離れ）
4	4/6	道央	42	男	羊蹄山	山スキー	転倒	羊蹄山 南西面 標高1200m付近をスキー滑走中に転倒し、受傷。身体の痛みあり。				打撲
5	3/17	兵庫	73	女	青貝山	無雪期	転倒	10時00分頃、青貝山登山口付近の道路凹みでつまづいて転倒。出血が多かったので止血等の応急措置を行った上で、会員が付き添って妙見口駅に戻る。				左足膝下挫創
6	4/10	道央	41	女	手稻西峰～星置山	積雪期	転・滑落	星置山ヘトラバース中、アイゼンで歩いている最中に滑り落ちた。足でブレーキをかけ戻りようとした際にコントロール不能となり滑り落ちる。				打撲
7	3/31	東京	65	男	麻布山	無雪期	道迷い	登頂し14:20下山開始。16時頃、踏み跡が判然としない広い尾根で尾根筋を間違え造林作業道に迷い込み沢に降りてしまう。ツエルトでビヴァーク。家族が22:15頃ココヘリに連絡を入れ、ココヘリの助言で警察にも捜索願を出す。翌朝、本人はルートを登り返して正規の道に戻る。県警はココヘリと協議のうえ県警ヘリを飛ばし、10:00頃、事故者の上空に飛来。しかし事故者はヘリに連絡する方法がなく「無事だ」という意味でライトを大きく振り回した。これが救助要請と誤認されたようで、ヘリは下降可能な地点を探して、救急隊員を地上に下し捜索した様子。				無
8	4/6	兵庫	81	男	行者尾根～ハーブ園	無雪期	転倒	下山途中の登山道でつまづき、4メートル程登山道を駆け下り転倒。10分程その場で休み本人が大丈夫とのことでハーブ園に向かいロープウェイで山。				ろっ骨も骨折 背中の打ち身
9	4/1	岡山	74	女	正木山	無雪期	転倒	出発時のミーティング中に、地図等を受取った時にバランスを崩し20cm下の溝に落ちた。その後段差に左手甲、前腕、胸を強打した。				左手甲骨折 胸部軟骨にひび
10	4/14	千葉	48	男	長沢ロック	登攀	転・滑落	リードで登攀中、4クリップ(高さ6～7mほど)ほどかけたあと、左足がずり落ち数十センチ岩壁をずり落ちる。				右足首骨折
11	3/27	埼玉	64	女	丸山	無雪期	その他	下山後、左膝と右足甲に暫く違和感があり、足の甲の痛みが日増しに酷くなつたので、4月17日に受診したところ「疲労骨折」と診断された。				疲労骨折
12	3/30	東京	58	男	鳥海山	山スキー	その他	スキー下山途中に雪にスキーを引っ掛け、ぶなの木に膝から衝突。左膝を骨折し歩行困難になったため、山形県警のヘリにて救助病院へ搬送される。				脛骨高原骨折
13	3/31	大阪	66	女	扇の山	無雪期	転倒	下山時にわかんを使用して歩いていたが、ずれた自分のわかんを踏んで前に転倒し、ストックの先端で胸を強打した。				胸打撲後 両側胸水少量貯留
14	4/7	東京	65	男	日和田山	訓練	転・滑落	樹林帯の斜面でセルフレスキューの訓練をしていた。登り返しをしようとメインロープにフリックションヒッチをセットしたが、緩んでいる箇所にセットし後に加重したため、後の斜面に転倒した。				両手首の剥離骨折
15	4/9	茨城	73	男	カラタバール	海外登山	病気	6日かけて標高4,343mまで歩いて高山病の症状が現れ、グループから離脱し下山した。				高山病（肺水腫）
16	4/13	石川	64	男	奥城山、大鶴山、中谷山	無雪期	虫・動植物	山行翌日に右耳の痛みと咬み合った頭皮に痛みと痒みを感じた。皮膚科を受診し、マダニに噛まれていたことが判明。				マダニ咬傷
17	4/17	福岡	64	女	田原山	無雪期	転落	前夜寝不足気味でふらつき、右足の着地点が柔らかいためバランスを崩して6m程転落し、木々でとまる。額に軽い掠り傷、右胸に痛みあるが自力で下山した。				肋骨3本骨折
18	4/20	京都	75	女	大御影山	無雪期	転倒	転倒し捻挫して動けずへりを呼んだ。				捻挫
19	4/8	東京	60	女	工ペレスト街道	海外登山	病気	ナムチャバザールで高度順応のため2日間滞在後、4月3日に出発してテンボチエ（3870m）に宿泊。翌日の下山もあったが本人（看護師）の申し出でディボンチエ（4410m）での高度順応日（2日間滞在）に回復を期待するが6日朝食も欠食のため、ガイド判断でチャーターヘリでルクラへ下山した。				高山病による嘔吐 食事未摂取
20	4/20	愛知	72	女	西台山	無雪期	転倒	下り林道の途中、ゲートまで15分ほどの所で、濡れてぬめった所で滑って転倒。				脊椎骨11番圧迫骨折
21	4/13	茨城	59	女	谷川岳	訓練	その他	滑落停止訓練中、雪面に差したピッケルのブレードで胸部を打撲。				胸部打撲
22	4/7	東京	69	男	赤岳	積雪期	転・滑落	地蔵尾根を下山中に、凍結した登山道で足を滑らせ滑落した。				大腿骨骨折 第4腰椎粉碎骨折
23	4/10	神奈川	35	男	ミンドロ島無名峰	海外登山	病気	フィリピンのミンドロ島での沢登り4月7日-12日を終え、予定通り日本に帰国した。帰国後の4月23日に嘔吐発熱を発症し自宅療養していたが、改善しないため4月26日に救急受診。レプトスピラ症（疑い）として入院加療となった。				レプトスピラ症
24	4/21	東京	68	女	塔ノ岳	無雪期	転倒	下山中、階段で躊躇左方向に転倒。左頬と左手のひら擦傷、左肩と左腿を打撲した。				左頬と左手のひら擦傷 左肩と左腿を打撲
25	4/26	東京	74	女	笠取山	無雪期	転倒	水干から笠取小屋へ向かう途中、道から出ていた木の根に足を引っ掛け前方へ転倒。右肩を下にして倒れ込む。しばらくして右肩の強い痛みが出てきた。				鎖骨骨折 全治2ヶ月
26	4/21	埼玉	60	男	鶴冠山	無雪期	虫・動植物	先行者がねのけた松の枝が右目にあたった。				右目眼球打撲
27	4/20	栃木	79	女	富岡アルプス吾妻山	無雪期	転倒	吾妻山から第五峰を下っている途中に足を滑らせ転倒し足首を痛めた。湿布を張り緊急用下山道から下山した。				左足首の圧迫骨折
28	4/23	栃木	72	女	百村山	無雪期	転倒	登山口で折畳み椅子に座って靴を履いている時、椅子ごと転倒し右手首を強打した。				橈骨骨折
29	4/28	滋賀	58	女	伊吹山地	無雪期	転倒	駐車場から20分ほど前の林道で、倒木を跨いだ際に左足スバツの靴底バンドが外れ、それを右足で踏みバランスを崩し、左を下に転倒した。				左大腿骨頸部骨折
30	4/28	長崎	72	女	宝満山	無雪期	転倒	昭和の森分岐を過ぎ13:50頃少し湿り気のある木の葉で滑った。木の葉の下に枝が隠れていたので乗り上げて転倒した。				左足首骨折
31	4/28	東京	39	男	ロブチエイストピーク	海外登山	病気	登頂後、その日のうちに下山できずハイキャンプにて連泊。翌日に近くの村まで降りてきたが、低SpO2、高熱だったため、その後の行動をやめてロッジに泊まり、翌朝ヘリにてカトマンズに下山した。				高山病
32	4/13	兵庫	53	女	荒地山	無雪期	転倒	急な登り坂で、両手をついた状態から右足を踏み出したとき、足下の地面がくずれて脛を打ちつけた。				右下腿前面挫滅創

事故一報の受領順で掲載

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男性	0	2	2	1	7	2	1	0	15
女性	0	0	1	3	5	8	0	0	17
合計	0	2	3	4	12	10	1	0	32

形態	無雪期	積雪期	山スキー	海外登山	登攀	氷瀑	人工壁	訓練	合計
男性	6	1	2	3	1	0	1	1	15
女性	14	1	0	1	0	0	0	1	17
合計	20	2	2	4	1	0	1	2	32

原因	転・滑落	転倒	体勢	落石（※）	病気	虫/動植物	道迷い	その他	合計
男性	3	3	0	0	3	3	1	2	15
女性	2	12	0	0	1	0	0	2	17
合計	5	15	0	0	4	3	1	4	32

傷病	骨折	捻挫	断裂	挫傷	高山病	打撲	損傷	その他	合計
男性	5	0	1	1	2	2	2	2	15
女性	9	1	0	1	1	5	0	0	17
合計	14	1	1	2	3	7	2	2	32

▲ 部・局・専門委員会の活動

■遭難対策部 転倒事故に細心の注意と十分な準備を

5月2日までに届いた事故一報は32件32名。今月の事故原因は、転倒が15名(無雪期13名、積雪期と山スキー各1名)、転・滑落が5名(登攀と積雪期各2名、無雪期1名)、病気が4名(海外)、虫・動植物が3名(無雪期)、道迷いが1名(無雪期)、その他が4名(山スキーと無雪期と訓練と人工壁各1名)。登山形態は、無雪期が20名、積雪期が2名、登攀が2名、山スキーが2名、海外登山が4名、訓練が2名。下山中の事故は12件、内8件が転倒事故。転倒事故が15名と半数近くに達している中、今回の男女数は男性3名、女性12名と女性の転倒者が増加している。出発前のミーティング中に転倒する事例、登山口で折畳みの椅子に座って靴を履いている時に椅子ごと転倒する事例、出発して間もなくスパツツの靴底バンドが外れそれを踏んで転倒した事例は、3件とも70代の女性。いずれも十分な注意と準備で防げる事例と考えている。

今回は、ヘリコプターでの出動が5件発生した。内3件は国内、2件は海外。国内では、ヘリが出動し事故者の上空に飛来したが連絡手段がない為、「無事だ」という意味でライトを大きく振り回したことが、救助要請と誤認された。救助要請の依頼をしない時は、ライトを点けて大きく手を振らないこと。衣服などを大きく振る事も救助依頼にあたる。依頼しない場合は、親指を立ててOKの動作をしたり、頭の上に両手で丸を示すことで大丈夫だと示すことができる。海外でのへり搬送が2件発生。2件とも肺水腫等の高山病で、他1件も高山病。高度順化は個人差があり、日頃からの登山による体力強化が必要だ。また、新たな感染症も発生している。フィリピンのミンドロ島でレプトスピラ症(スピロヘータの一種)に感染し、帰国後検査で判明した。各パーティーは、十分な注意を願いたい。

(遭難対策部長 石川 昌)

■組織部 6月29~30平和と登山全国集会の成功を!

NO PIECE NO CLIMBING 平和と登山全国集会のチラシを各地方連盟に配信している。各会・クラブのニュースで会員に知らせていただきたい。このチラシは全国理事で組織部員の山本裕之さんが作成したもので、「NO PIECE NO CLIMBING」はオリジナルフレーズ。組織部で工夫を重ね、集会成功のため取り組んでいる。集会の来賓として、全日本婦人団体連合会の柴田真佐子会長に挨拶いただく。柴田会長は3・8国際婦人デーに戦争させないために声をあげようと、「銀座パレード」を成功させている。リアルな活動報告が聞けるので、大いに期待してほしい。また、集会では野口邦和原水爆禁止世界大会実行委員会共同代表による『核兵器禁止と世界平和への道』と題した記念講演や、地方連盟・個人からの活動レポート、「ピースソングリレー」、「ピースグリーンアクション」も計画している。組織部としては参加者が主

人公となるよう工夫しいきたい。みんなの意見をどんどん寄せていただき、多くの参加を期待する。特に、東京をはじめ関東からは会場参加をお願いしたい。実施要項・参加申し込みは労山HPを参照されたい。

(組織部長 久保典子)

■海外委員会 海外海外登山交流集会に向けて討議と準備

登山時報夏号に掲載予定の「海外登山交流集会案内」文(山中委員執筆)について、各委員の了承を得た。また、交流集会の海外山行報告集のための報告書作成依頼の前段階として、まずは全国連盟理事長と海外委員長の連名で、海外山行調査用紙依頼の趣旨を依頼予定の山行計画担当者に送付する。2023年度に全国連盟へ提出された海外山行計画の中から、労山会員と共有したい山行をリストアップした。2024年度分については、5月末までに出発する山行を対象とし、興味深い内容があれば依頼対象として追加する。送付先となるメールアドレスを調べたので、今後、山行担当者に依頼して報告集作成の協力をよびかける。

(海外委員 五十畠茂)

■労山基金運営委員会 2024年行事主催者賠償責任保険の契約締結

労山は4月26日に2024年度行事主催者賠償責任保険について申し込みを締め切った。申込は全部で62団体(昨年より2団体増)、対象者数は11,522人(同17,127人増)だった。団体の内訳をみると、地方連盟が14団体、会・クラブ単位では46団体だった。対象加入者数を地方連盟単位でみると、兵庫県連の785名、北海道央連688名、愛知県609名の順である。次いで会・クラブ単位では、トップは西宮明昭山の会1,540名、奈良勤労者山岳会500名、京都洛中勤労者山岳会471名である。これら対象加入者数に対する暫定保険料は286,820円だった。2025年5月の有効期限が過ぎた時点で実施内容に合わせて精算する。支払い対象となるのは、イベントの遂行に起因して発生した対人・対物事故について、被保険者が法律上の賠償責任を負担した場合(日本国内における事故のみ)。事故例としては、①講習会中に主催者側の誘導ミスによって、参加者がケガをした(要注意場所での講習で事前の説明がなく、滑落し重傷を負った等)、②主催者の説明不足で、本来使用する用途とは違うタイミングで、参加者が誤った装備備品を使用し、参加者の持ち物を破損させた(本来使用すべきではない場所でピッケルを使用し破損した等)である。申し込んだ団体は、行事を実施しなかった月も含めて、毎月実施状況を保険代理店へ報告することを忘れてはいけない。※故意および地震・噴火・洪水・津波などの天災によって生じた事故は保険対象外。

(労山基金運営委員 今野義伸)

★JWAF journalの月号表記について★ 総会で寄せられた要望を反映し、今号を「5・6月合併号」とし、6月発行「7月号」、7月発行「8月号」と表記します。ご了承くださいようお願いいたします。

労山基金 2024年4月 交付認定の一覧

No.	地方連盟	口数等 ※	事故発生日時	山域名	山形態	事故原因	事故状況	傷病名
1	東京都	60代女性 5口	2023/04/02 10時00分頃	越後三山・未丈ヶ岳・苗場山 村杉岳	積雪期登山	その他	大規模なデブリ帯を避けたため、雪のブロックを下り降りる着地の際、アイゼンを履いた右足に全体重がかかる感覚と同時にギックリ音。その後徐々に痛みがはじめた。	右脛骨 近位端骨折
2	道央地区	50代女性 10口	2023/04/09 08時00分頃	北海道その他 利尻山・北棱	積雪期登山	転倒	左傾斜の斜面を歩行中、柔らかい雪を踏み抜き、重いサックが重力で左に振られ上半身も倒れ、膝に負担がかかった。	前十字靭帯損傷
3	東京都	40代男性 10口	2023/04/23 11時00分頃	中央アルプス 千畳敷カール	山スキー	転倒	千畳敷カールから木曽駒ヶ岳まで登ったが、気温が上がらず雪が緩まないと雪不足の為、正沢川源頭は滑ららず中岳まで戻る為、木曽駒ヶ岳から滑走。減速しようとしがudiが悪い雪面でスピードが出すぎでいてそのまま丘を乗り越えると、その先是雪解けした岩混じりの土の地面で、高さ4m程からダイブ。雪面から10m程離れた先まで飛んで、板から落ちて次にお尻、(はずみで)うつ伏せ状態になり停止した。	尾てい骨骨折 臀部、右手親指打撲
4	道央地区	70代男性 5口	2023/05/14 08時00分頃	北海道その他、小樽赤岩 奥リス前ガレ場	登攀	転倒	奥リス前のガレ場にいたが、上部の終了点にいたメシバーと話しながら歩歩いた時に、足元の岩が崩れ、左半身を下に向かって転倒した。頭を打ち、脳震盪を起したのか、暫く動けず吐き気と眩暈の症状があった。左手首や右手の疼痛も強く、三角巾で左腕を固定し自分で下山。	左尺骨茎状突起骨折、右第4中手骨骨折、左橈骨遠位端骨折
5	広島県	70代女性 10口	2023/05/24 14時30分頃	中国・四国その他・鏡倉寺山 山頂からの南峰ルート下山道の 南峰手前の鞍部附近	無雪期登山	転倒	南登山口から南峰ルートを山頂まで登り、ピストンでの下山中に最後のピーク南峰手前の鞍部の緩やかな登山道でバランスを崩し転倒。左肩を立木に強打した。痛みが走り腕が上がりにくいとのことで、荷物を分担し用心して下山。後日、腱板が完全に断裂と判明。手術、約7週間の入院予定。	左肩腱板断裂
6	兵庫県	60代女性 1口	2023/06/18 12時00分頃	近畿地方その他 虚空蔵山～三本峠への下山道	無雪期登山	転倒	下りの登山道でスリップし左足首を捻つた。トレッキングポールを使用していた。登山道はややザラしており、枯れ葉も少々あり滑りやすい状態だった。	左足関節 脱臼骨折
7	東京都	60代女性 5口	2023/07/02 13時45分頃	奥秩父・乾鶴山 山頂から30m下山した辺り	無雪期登山	転倒	2mの腐つて濡れている木道で滑り、尻もちをつく。その弾みで右手首を地面に強打した。	右橈骨 遠位端骨折
8	愛知県	50代女性 5口	2023/07/16 08時00分頃	鍵掛沢 (カギカケサワ)	沢登り	その他	大岩をのっこす時に左手を突っ張り、力をかけた瞬間に胸の骨にクキッという音がした。	胸骨骨折
9	高知県	70代女性 3口	2023/07/02 09時30分頃	中国・四国その他、東赤石山 ルート上標高1230mあたり	無雪期登山	虫	左手甲2力所を手袋着用の上から大型ハチに刺された。	昆蟲刺傷
10	高知県	60代女性 5口	2023/07/23 09時00分頃	中国・四国その他 鉄砲石川	沢登り	転倒	入渓してまもなくバランスを崩し転倒し、腰を打撲。痛みを感じながらも歩行は可能だつたが、痛みが引かず、翌日診察したところ腰の圧迫骨折と診察された。	腰部圧迫骨折
11	道央地区	50代女性 10口	2023/08/13 15時00分頃	日高山系 ソエマツ岳	沢登り	転・滑落	段差のある細尾根を下降中、後ろ向きでクライムダウン中、握っていた木が折れてそのまま滑落した。危険個所にも拘わらず三点支持での基本的な行動ができるいかつた。又は、危険個所の通過という認識に欠けていた。(2024/04/23救助捜索費差額30000円交付済)	肺骨傷性頭隨具傷・右第5鎖骨頭部障害・第3鎖右横突孔骨折・第5鎖左横突起骨折
12	愛知県	60代女性 5口	2023/08/27 11時50分頃	近畿地方その他 三上山 (近江富士) 山頂から下ったところ	無雪期登山	転倒	三上山山頂から100mくらい下ったところ。不均等な段差が100mくらい続き、最終段を降りて北へ向きを変えた時、右足が石車に乗つてバランスを崩し、そのまま斜後方に体重移動して尻もちをつく。	左足首捻挫
13	新潟県	50代女性 10口	2023/08/30 14時00分頃	人工壁	人工壁	転倒	バレーリング中、着地した時に右膝を内側に捻つた。	右膝内側半月板損傷
14	東京都	50代女性 10口	2023/09/22 20時30分頃	人工壁	人工壁	転・滑落	アイシングをして帰宅して21時半過ぎに夜間急患で診察。金曜日の夜だったため、翌月曜の午後に手術入院。その後通院ヒリハビリを続け、半年後にボルトを取る。	左橈骨 遠位端骨折

No.	地方連盟	口数等※	事故発生日時	山域名	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
15	兵庫県	70代女性 3口	2023/10/09 10時00分頃	東北その他、栗駒山 登山口の栗駒レストハウス前	無雪期登山	転倒	登山前から雨が降り、いわかがみ平登山口から中央コースで山頂を目指す。山頂手前から風雨が強まり寒さも厳しい中、登頂。その後ピストンで下山する。登山口にある要駒レストハウス前にて、前方からの登山者に道を譲る為、道の端におけるも、濡れた草の上に置いた左足が滑り、残った右足が傾き捻る。	右足関節外踝離骨骨折
16	兵庫県	70代女性 5口	2023/10/10 13時00分頃	蔵王連峰 地蔵岳 トライバース道の木道上	無雪期登山	転倒	地蔵山頂駅から地蔵岳、熊野岳に登つて御金の滝を歩き途中山頂レストハウスで昼食後、風雨のため刈田岳は往路で登つているので登らず、トライバース道を歩く。そのトライバース道、登山も終盤での事故であった。木道が濡れていますが、左手をついて転倒し、左手首を負傷した。	左橈骨 遠位端骨折
17	東京都	70代女性 1口	2023/10/22 15時00分頃	富士山と周辺、金時山 山頂直下（静岡県側）	無雪期登山	転倒	山頂から足柄駅に向かう下山直下の階段をおりたとき、曲がる所があり、「ストックを使わないように」と考えて気を取られてしまつたようだ。道に飛び出したいた鉄杭につまづいて転んだ。両手をついて滑りやすいので慎重に歩いていたが、左手首を負傷した。	右橈骨 遠位端骨折
18	青森県	70代女性 2口	2023/11/12 11時50分頃	東北その他・鳥帽子岳 下山途中登山道3/4の所	積雪期登山	転倒	前日からの降雪で登山口から雪の上を歩き、山頂からの下山時、雪で滑つて転倒し左手をついて支えるも痛みを感じながら下山。病院の救急外来を受信し、骨折のためギブスで固定した。	左手首骨折
19	兵庫県	70代女性 3口	2023/11/19 11時30分頃	金鹿山系、雨乞岳 沢谷出合付近	無雪期登山	転倒	三合目付近を登っている時、掴んだロープが緩んだ為、咄嗟にあわててしまい、足をすべらせて転倒した。	打撲 (左目の横・左肘)
20	大阪府	50代男性 1口	2023/12/23 11時頃	八ヶ岳連峰 阿弥陀岳から行者小屋への下山	積雪期登山	転・滑落	阿弥陀岳から行者小屋への下山時に滑落停止の練習。	脇骨骨折
21	兵庫県	50代女性 5口	2023/12/24 13時30分頃	近畿地方その他 加西アルバス・笠松山	無雪期登山	転倒	笠松山から馬の背登山口に向かつてます一度下り、その後登り返した先に東屋があるが立ち寄らずに下りだした。サレた道の石で足を滑らせて尻もちをついた際、とつさに右手に体重がかかり、手首を痛めた。その場でエーサロンバスで冷やし、テーピングをして最後まで自力で歩いた。	右手首にひびが入る
22	東京都	40代男性 10口	2023/12/13 14時00分頃	関東・甲信越その他 有笠山・南国エリア	登攀	その他	クライミング中ヒールフックした際にメリメリと異音がした。	内側軟骨か 半月板の軽微な 損傷の疑い
23	神奈川県	40代男性 1口	2024/01/03 13時00分頃	関東・甲信越その他/幕山 幕岩公園マコロンランドの シャワーコロン	登攀	転・滑落	マコロンランドエドリアのシャワーコロンにて、最初のクリップに行き詰り、クライムダウンしようとして、足元をよく見ずに手を離し、足元の傾斜がひどく、地面に着地した瞬間に後ろにひっくり返った。取付にある枯れ木を根元からなぎ倒し、一段下まで落とした。	左肋骨5本骨折 左橈骨 遠位端骨折
24	神奈川県	50代男性 10口	2024/01/25 22時00分頃	人工壁	転・滑落	リード壁でフォールした際、壁に背中を強打。	打撲と肋骨骨折	
25	神奈川県	60代女性 3口	2024/01/24 11時00分頃	丹沢・道志、広沢寺 広沢寺のゲレンデから近い沢	訓練	転倒	広沢寺ゲレンデでアイゼントトレーニング中、簡易トイレに向かうため沢を渡つた時、滑る石に足をつき、前方に右手を置いて転倒する。手首をつくと痛みがあった。焼骨遠位端骨折	右手首橈骨遠位端骨折
26	神奈川県	60代男性 2口	2024/02/08 12時30分頃	関東・甲信越その他、日金山 十国峠ロープウェー階段	無雪期登山	転倒	リュックを持つて階段を降りようとした際、バランスが崩れ、階段を前面から落ちた。右手薬指が裂傷。	裂傷 右手薬指
27	東京都	70代女性 1口	2024/02/18 10時45分頃	富士山と周辺 都留アルプス	無雪期登山	転倒	数日前の積雪で登山道の落ち葉が濡れていた。落ち葉で足を滑らせ、弾みで切り株に左前足の前面を打ち、転倒した。	表皮はくり潰瘍

※口数等：(団=団体口数、(個=個人口数、表記がないものはすべて個人登録のみ)

労山カレンダー写真募集

2025
年版

募集期間

7月1日(月)必着

採用された方には謝礼2万円

すべての応募者にカレンダー1部進呈



今回も労山会員の山写真でカレンダーをつくります。
山や登山の素晴らしさ、魅力が伝わる1枚をお待ちしています！

応募規定

資格：労山会員
点数：一人5点まで
期日：7月1日必着
写真：横位置のみ、合成不可

- ・データの場合
1000万画素以上（縦2500×横3500ピクセル以上）
形式はJPEGまたはTIFF
- ・フィルムカメラ作品の場合
B4サイズにプリント、もしくはデータ化したもの
- ・人物が主題の作品は、写っている人の許諾を得ていること

※写真はトリミングさせていただくことがあります。

※カレンダー（B4判・中綴じ）掲載時の仕上り寸法は257mm×364mmです。

採用作品は下記にも掲載いたします。予めご了承下さい。

- JWAF journal の表紙
- 日本勤労者山岳連盟ホームページのトップ

スマートフォンで撮影される方へ

毎年、素敵な構図なのに画質の問題で選考外になる写真が多数あります。

縦2500×横3500ピクセル以上のサイズで撮影してください。

選考規定

採用数：表紙および1月～12月の計13点
選考：小松由佳さん（フォトグラファー）

今年のWEB応募は、
専用フォーム+
ギガファイル便

応募方法

WEB応募
<https://ws.formzu.net/dist/S28243176/>



郵送

CD-R又はUSBで送付。フィルムカメラでの作品はデータ又はB4サイズのプリント写真で送付。

氏名・所属会・地方連盟・住所・電話番号・メールアドレス、各作品名・被写体の山名（山域）・撮影年月日を明記してください。

送付先

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24 **日本勤労者山岳連**

※返却を希望する場合は、返却先を記載して切手を貼った返送用封筒を同封してください。